

令和6年度第1回西淀川区区政会議

1 開催日時：令和6年7月4日（木）午後6時30分～午後8時02分

2 開催場所：西淀川区役所5階 会議室

3 出席者の氏名：

（委員：敬称略、50音順）

麻井、伊関、今前田、浦中、大垣、大西、岡崎、岡本、木村、倉方、竹内、多田、
西垣、樋口、平井、平林、藤江、藤田、藤浪、松岡、森田、矢口、吉見

（事務局：西淀川区役所）

松田区長、楯川副区長、奥本総務課長、西尾政策共創課長、近藤地域支援課長、
木村安全まちづくり担当課長、松本窓口サービス課長、篠原保健福祉課長、横内
こども福祉担当課長、足立保健主幹、山城生活支援担当課長、

（市会議員）

山田かな市議会議員

（府会議員）

中川誠太府議会議員

4 議題

（1）令和5年度西淀川区運営方針の自己評価について

（2）グループ討議「みんなでめざす西淀川区の未来」について

（3）その他

5 議事内容

○大垣議長

こんにちは。梅雨の中ですが、ちょっと暖かくなりましたな。そういうことで、今日は6年度の第1回区政会議を始めさせていただきます。すみませんが、よろしくお願いいたします。

それでは事務局から、本日の議事進行を進めていってほしいと思いますのでよろしくをお願いします。

○西尾政策共創課長

政策共創課の西尾でございます。皆さん、こんばんは。

本日の会議は現時点で20名の参加であり、定員27名の過半数を超えていることから会議が成立することを確認しています。

次に議事進行についてですが、議題は「令和5年度西淀川区運営方針の自己評価について」、それと「グループ討議「みんなでめざす西淀川区の未来」について」を予定しております。

続いて、配付資料の確認を行います。

まず、次第でございます。そして、資料1の区政会議の配席表と名簿ですね。それと資料2「令和5年度西淀川区運営方針」でございます。それと資料3「令和6年度第1回西淀川区区政会議 グループ討議について」、それと資料4としまして、「将来ビジョン策定に向けたワーク」でございます。それと資料5「西淀川区将来ビジョンの策定に向けて」。それと参考資料として、統計データの資料でございます。

以上でございますが、資料等にもし何かございましたら、お手を挙げていただいたらお持ちさせていただきます。よろしいでしょうか。

この区政会議は実施状況について、ホームページや広報紙などで報告させていただきます。様子が分かるように写真を掲載するため、会議中写真を撮らせていただきますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

また、会議の様子を西淀川区役所YouTubeチャンネルでライブ配信をしております。どうぞよろしくようお願いいたします。

それでは、以上でございます。

議長、お願いいたします。

○大垣議長

それでは、議事に先立ちまして、区長からご挨拶をお願いいたします。

○松田区長

西淀川区長の松田でございます。皆さん、こんばんは。

日頃は西淀川区政並びに大阪市政に多大なるご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

そして、今日は本当に暑い一日でございましたけれども、そんな中お疲れもあるかと思うんですけども、こうやって沢山の方にご参集いただきまして、本当にありがとうございます。

今日は大きくテーマは2つです。1つ目は、昨年度の振り返り。2つ目は、この先の西淀川についてということです。

まず1点目ですけれども、令和5年度の経営課題を大きく5つ設定していました。それについてアウトカム、実績としてどうだったんだろうという部分を、自己評価という形でご報告させていただきます。

2つ目ですけれども、西淀川のこの先おおむね5年、長いんですけどもね、長いようで短いようで長いようですけども、「この5年先はどうなるんだろう」「どうあるべきなんだろう」と、皆様の多角的なご意見をどうぞ活発に交わしながら結論を導き出せばなというふうに思っております。参考にさせていただきたく思っております。今日はどうぞよろしくをお願いいたします。

○大垣議長

ありがとうございます。

それでは、第1号議案から行かせていただきます。令和5年度西淀川区運営方針の自己評価について、区役所から説明をお願いいたします。

○西尾政策共創課長

それでは、私から議題1「令和5年度西淀川区運営方針の自己評価」についてご説明させていただきます。資料2「令和5年度西淀川区運営方針」をご覧くださいませ

でしょうか。

目標としまして、「活気があり、笑顔にあふれ、常に進化するまち」（もっと住みたい、もっと事業したいまちへ）ということで、様々な取組をさせていただいておりました。

そして今回は、自己評価ということでございますので、各経営課題の指標の達成状況について説明させていただきます。

経営課題1「共創によるまちの魅力向上」ということで、1ページ目の一番下のところですね。アウトカム指標の達成状況というところでございます。「まちの魅力向上をめざして、以前より区役所の取組が進んでいる」と感じる区民アンケート回答者の割合は、目標を達成いたしました。また、LINEの登録者数については、3月31日時点では7,000人の目標を達成しておりませんでした。現時点では7,000人を超える友だち数になっております。引き続き、周知徹底を行い、友だち数の確保に努めてまいりたいと考えております。

続きまして、2ページ目の経営課題2「こどもたちがいきいきと育つ環境整備」ということで、このアウトカム、下のところでございますけれども、「教育環境や子育て環境が以前より良い」と感じる区民アンケート回答者の割合は54.2%ということで、目標を達成しております。

続きまして、経営課題3「地域コミュニティの活性化」でございます。これにつきましては3つの指標がございます。区内企業のネットワークに参画する企業数につきましては、達成はしておりますけれども、地域活動協議会の構成団体が「地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にある」と思う割合ですね、これが84%、6%足りないということと、「区内の人と人のつながりが以前より促進されている」と感じる区民アンケートの回答者の割合につきましては3.9%目標に少し足りないということで、これにつきましても、引き続き地域活動協議会の自律運営に向けて、各地域の課題の解決に向けたさらなる支援をするとともに、

皆さんのつながりづくりに努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

そして、次の経営課題4でございます。「安全で快適なまちづくり」につきましては、防災教育プログラム実施支援の実施と、「区内の美化啓発活動などについて、以前より取組が促進できている」と感じる区民アンケート回答者の割合につきましては、目標に達しておりますけれども、「女性が多く意見が反映される」旨回答した地域自主防災組織のアンケートが達成しておりませんでした。引き続き、女性視点というのは大きな問題でございますので、女性視点を反映した備蓄物資の配備充実や避難所開設運営訓練の実施によって、女性視点での防災取組の促進をさらに図ってまいりたいと考えております。

次、5点目でございます。経営課題5「誰もがいきいきと暮らせる温かいまちづくり」につきましては、これは、「区内でご家族・ご親族以外で相談できる相手がいる」と答えた区民アンケート回答者の割合について、目標に達しておりませんでした。地域で日常的・継続的に見守り活動ができる仕組み等をPRすることで、それらの担い手を増やしていった、より一層広げること等で、身近なところで誰もが相談できる仕組みを充実させるなど、取組を推進していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

全体としましては、様々な活動主体と協働した取組によって、災害への備えを強化することや、区公式LINEの活用で区の情報発信を強化して、子育てや教育に関する的確な情報発信やまちの魅力の向上に取り組むことができた一方で、一部のアウトカム指標につきましては、十分な啓発やアプローチができていなかったということがございます。事業の進め方について戦略を立て直して、中長期の対応策を検討していく必要があると考えておりますので、よろしくお願いいたします。

今年度は令和6年度の運営方針に基づいて新たな視点で関係機関や地域や企業・団体と十分に連携しながら、経営課題の解決に向けて取組を進めていきたいと考えてお

りますので、よろしくお願いいたします。

説明については以上でございます。

○大垣議長

ただいまの説明について、ご意見・ご質問がありましたら、挙手をしてお願いいたします。発言の際にはお名前をおっしゃってください。

意見がないようでしたら、続きまして議題2のグループ討議に移させていただきます。事務局から趣旨の説明をお願いいたします。

○西尾政策共創課長

それでは、資料3「令和6年度第1回西淀川区区政会議グループ討議について」をご覧くださいませでしょうか。

今回のテーマは、「みんなでめざす西淀川区の未来」ということで、今回のグループワークでいただいた皆様のご意見をもとに西淀川区の将来ビジョンを策定していきたいと考えております。

進め方としてはこの2番にありますとおり、5年後の西淀川区の望ましいすがた（めざす将来像）について、「将来ビジョン策定に向けたワーク」に沿って①、②、③、④の順に検討させていただきます。

まずは各自で検討いただき、その後、グループ内でファシリテーターを1人決め、発表・意見交換をしていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

その策定に向けたワークですけれども、資料4「将来ビジョン策定に向けたワーク」があります。

まず①で、5年後の西淀川区がどんなまちになってほしいかということをお考えいただきます。ここには例としまして、「活気があり、笑顔にあふれ、常に進化するまち（「住みたい」「事業したい」と選択されるまちへ）」と書いておりますが、これでいいのか、「ほかにももっといいアイデアがあるよ」という方は考えていただいて、①で掲げたまちを実現させるために、西淀川区が今後5年で特に力を入れていくべき

ことはどういったことがあるのかを②に書いていただいて、③と④については、その取組項目における現状の課題や問題点と、その解決策をお考えいただきたいということになっておりますので、よろしく願いいたします。

区でも、今までにいただいた皆さんの区政会議での意見をもとに草案を作らせていただいております。それが資料5「西淀川区の将来ビジョンの策定に向けて」でございます。

めくっていただきますと項目がございまして、その次のページですね、新しい将来ビジョンの策定の目的でございます。将来ビジョンは、区政を運営していく上で区のめざす将来像、その実現に向けたまちづくりの方向性を取りまとめ区民の皆さんに明らかにするものです。おおむねこれからの4年間というのを、今年度1年で計画をして、次の4年間を見据えて中長期のビジョンを策定することになっております。

ここにも次のページで、めざす将来像としまして、「活気があり、笑顔にあふれ、常に進化するまち（「住みたい」「事業したい」と選択されるまちへ）」とありますが、このキャッチフレーズにつきましても、皆さんで再度考えていただいて、「もっとこういうのいいよ」というご意見をいただいて、それをもとにまた区役所で案を考えさせていただきたいと思っています。

策定に向けた方向性としましては、今のところ5つの柱を掲げさせていただいております。これも今までに区政会議で皆さんからいただいた意見を反映させていただいていると思っております。

①番としましては、地域コミュニティの活性化。

②番、健康で安心・安全な地域づくり。

③番として、未来を担う人材の育成。

④番としまして、魅力と活力あふれるまちづくり。

⑤番としまして、DXの推進による市民QoLの向上という形で、次のページには具体的な取組項目も書かせていただいておりますので、これを参考にされて皆さん、

ご意見いただけたらと思います。「この項目よりもっとこっちのほうがいいよ」とか「こういう表現のほうがいいよ」とかですね。違う観点でも「こういったのも入れたほうがいいんじゃないか」というのも含めて、皆さんでご議論いただけたらと思っていますので、よろしくお願いいたします。

最後に参考資料として、事前に資料として送らせていただいておりますが、統計データもございますので、その点を参考いただけたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

これから討議に入っていただきますが、よろしいでしょうか。何かここまででご質問等ございましたらどうぞ。

ないようでしたら、このまま討議に入ります。途中でも結構でございますので、またお聞きいただけたらいいと思います。それでは、記録者と区役所職員は各テーブルへ移動していただいてよろしいでしょうか。

まずは皆さん、初めに西淀川区の将来像や取り組むべき項目などを各自で検討していただいて、目の前に付箋があると思いますので、その付箋に西淀川区はどんなまちになってほしいか、その将来像をイメージして、将来ビジョンの策定に向けたワークの①のほうに記入いただくなり、付箋にご記入いただくようお願いいたします。

それではまず、各自で5分間ほどお考えいただいてよろしいでしょうか。それでは、よろしくお願いいたします。各自での検討でお願いいたします。

(休憩)

○西尾政策共創課長

それでは、5分が経過しましたので、これからグループ内で話し合ってくださいませすけれども、まず最初にグループ内でファシリテーターを決めていただけますでしょうか。そして、そのファシリテーターの指示に従って付箋に記入したものを模造紙に貼って、各テーブル内で発表いただいて、最後にまたグループ討議でまとめた意見を発表していただきますので、まずはファシリテーターを決めていただいて、議事進行

していただいてもよろしいでしょうか。

それでは、よろしくお願いいたします。

(意見交換)

○西尾政策共創課長

皆さん、それではお時間となりましたので、取りまとめた意見を各テーブル、大体3分程度で発表いただきたいと思います。

それでは、どこのチームからでもいいんですけれども発表いただける方はおられますでしょうか。

○藤江委員

それでは、こちらのグループの発表をさせていただきます。

今でも既にいいところの一つだと思うのですが、人のつながり、これをやっぱり一番、西淀川は今後も伸ばしていけばいいだろうという意見が最も出ました。

そのためにできることとしては、例えばイベントをやるとか、毎日挨拶をするとか、マンション単位でも町会加入をやってもらうとか、そういう機会を作っていく。防災の問題もあるんですが、防災をきっかけに人がつながって、それをまた新たにつないでいくということができないかという話をしてたら、実は西淀川は意外と治安がよいと。知ってましたか。僕も知らなかったんですけど。意外といいらしくて事故も少ないということで、もっとこういうことも外にアピールして、住みやすいまちだということをもっと、特に不動産屋に言って、西淀川を勧めてもらうということをしなければならぬのではないかとりました。

その中で、先ほどのデータを見てると、外国人の方がすごい増えている。3,000人ぐらいだったのが5,000人ぐらいになっていて、その方をぜひ中に、一緒にやれるようにしていきたいなど。ただ、来てもらうに当たってはお互いの文化とか習慣を理解したいよねということになり、どうしようかと。では、そろそろ盆踊りの季節ですよ、盆踊り一緒に踊ろうというのが一番近い目標として決まりました。

住み続ける上で、誰でもチャレンジできるまちっていう、進化するということは誰でもチャレンジ、小さなチャレンジでもいいし、再チャレンジでもいいのでできるようなことをすれば、若い人も地域に関わってくれるのではないか。その上で自然を生かすということで、身近な自然を生かしてということで、緑道を憩いの場所にして、健康になるまち、歩いて長生きができるまちということをいろいろやっていけば、住みたいまちから住み続けたいまちになるというのがこちらのグループでまとまりました。以上です。

最後ちょっともう一個言うのを忘れていた。

スポーツや音楽ができる場所がもっとほしいという意見がありまして、ボール遊びとかスケボーとかできるところはまだないよなど。まずはストリートピアノを置いてどこかで演奏してもらおうとか、そんなことが学校とか区役所とか使えるところはみんな使ってやれるようにならないかということになりました。以上です。

(拍手)

○西尾政策共創課長

では次のチーム、すみません、せっかくですから前に来ていただいていたいいですか。模造紙を持って出てきていただけたらありがたいです。

○吉見委員

吉見です。

僕らのグループでは、どんなまちになってほしいですかという中で、西淀川区の一番の魅力はやっぱり人ではないかということで。皆さんね、うんうんって言うていただけてますけども、アットホームなまちで、思いやりの心を持っている人が多いということで、そういう人たちがどんどん増えていけるようなまちになればいいねという話になりました。そういったまちにしていくためには、防災のことであったり、子育て支援のことであったり、介護のことであったり、いろんな個々に素晴らしい活動をされてる方がいっぱいいるんですけども、そういった人たち、団体同士の横のつ

ながりって意外と少ないのかなという話が結構出ました。いろんな地域や、いろんな活動をされている組織の中には、つながりを作っている人たちは必ず2人や3人はいると思います。そういったつなぐ人たちの発掘であったり育成であったりを進めていくことで横のつながりが増えていって、例えば健康と教育とか、防災と外国人とか、違うジャンルの組織同士のコラボであったり、つながりができることで、さらなる相乗効果、発展ができていくのではないかという話が出ました。そんな中で、若い人たちも高齢者の方も、学生さんも外国人も、おのおの、いろんな人たちが楽しみを持てるようなまちになっていくのではないかなと思っております。

あと話の中で出たのが、若い人たちがこういう区政会議というか、いろんな集まりの中に出てくる機会がすごく少ないということがあります。例えばこの区政会議の高校生版とか、もしくはこの区政会議に高校生枠、小学生枠みたいなのを作って、忌憚のない意見を言っていただくような機会を持つことができれば、今後の5年と言わずに、10年、20年先の西淀川区ももっとすばらしいまちになるんじゃないかなという話が出ました。

以上です。ありがとうございました。

(拍手)

○西尾政策共創課長

ありがとうございました。それでは、続きましてのチームは。どうぞ。

○多田委員

うちの班も、先ほどの2班と同じような意見が出ました。西淀川の魅力って人ですよねとか、子育て環境もちょっとできてきているし、でも町会加入はちょっと減っていて、地域によって差が出てきてるよねっていう話もしました。塚本の辺りはお店もあってにぎやかなエリアになっているし、御幣島の辺りもマンション増えてきたし、何かいいんだけど、海側に行くとまだ古い町並みも残っていて、それは一つの情緒なんだけど、なかなか開けないねっていう話をしています。

我々も同じようにまちの魅力をやっていくために、一つは防災、そして地域活性化、そして子育て支援という三つの柱がやっぱりありますよねって話になりまして、そこでふと思うわけですよ。周辺の区に目を配ってみると、例えば川を越えて隣の此花区は来年万博があるし、I Rがその後やって来るし、U S Jもあるし、何か元気だよ。じゃあこっちは隣はというと、淀川区ですよ。何となくベンチャー企業が何か集積しつつあって、新大阪駅も新幹線とかリニアとかいろんな計画があって将来有望ですよ。斜め反対側の福島区や北区は、今まさに再開発ですごく活気づいているところで、「あれ、西淀川が取り残されるのではないか」というような危機感がありまして、西淀川の独自色を出していこうねという話になりました。

地域活性化や子育て支援、防災は着実にやっていって。とにかく今その周辺の区も元気なので、そこで働く人、交流人口が増えたら、じゃあ住む場所が必要ですってことになりますよね。そのときに西淀川が選ばれるように、当然この三つの柱はちゃんとしておかないといけませんよね。

あともう一つプラスで、独自色を作りましょうねという話になりまして、我々にはもう矢倉しかないのではないかという話になりました。矢倉に子どもたちが遊べる場所とか、あるいはスポーツツーリズムの拠点であるとか、万博で海上交通もどんどん発展していくので、水陸両用系の新しいバスとかモビリティとか、空飛ぶ車もそうですね。そういうところもいろいろ可能性が。今その防災とか水害でね、「川に囲まれて水害にリスクある土地なんですよ」ってなっていて、何かこう負の要素しか出てきていないなど。川や水に囲まれていることがマイナスの要素になってしまっているような気がする。これをプラスに転換するとしたら、今言ったとおりその先っぽを活用したら、そこに活気が生まれたらね、塚本のほうに寄っている活気をぐーんと西側のほうに引き寄せてこられるかなと。

だから5年間かけて、矢倉とかそういうところを拠点に独自色を作っていくのと、着実に三つの柱に取り組んでいくことが大事になって。でも今言ったことは

区役所の範疇を超えてしまうというような話にもなり、やっぱり着実にやっていきながらやっていくことが大事だよねという話になりました。以上です。

(拍手)

○西尾政策共創課長

ありがとうございました。

それでは最後の班、よろしく願いいたします。

○松岡委員

意外と見てもらったら分かるかもしれないという感じです。小さいテーブルで話すのは楽しいんですけど、こうして大きいところの前で話すのはあんまり得意じゃないんですけど、頑張りたいと思います。

初めまして、松岡といいます。西淀川でずっとシェアオフィスを友人のデザイナーとしていて、私自身はアートコーディネーターとか、もともとは舞台俳優をしていて、アートで地域に何ができるかということを経験している身です。

それは置いてきまして、グループで話したことを報告すると、まず、防災の話がやっぱりかなり強く出てきて、中でも水とか雨とかに対する不安がすごく出てきていて、これはもう長年の課題のようなので、さんざんもう声が上がっていることだと思えますが、引き続き頑張りたいという声がありました。

もう一つ、大きく話題に上がったのは、海外の方が増えてますよねということで、誰もが住みやすいまち、お金があってもなくてもどんな人も住みやすいまちを目指したいけれども、その話をしているうちに、「海外の方はすごい増えているよね」「何か共存していかないといけないよね」という雰囲気がグループの中にも伝わってきて。海外の方に日本語を教えている高齢の方もいるので、そういう人材をもっと使って交流したり、海外の方が分からない情報を丁寧に根気よく説明したりしていく必要もあるなという話がある一方で、「共存ができているのか」という投げかけに対してはやっぱり不安も正直なところあるみたいなこともあって。海外の方の中には最近お

墓の問題をどうしようかとおっしゃってる方がいて、土地を買う、ここの土地を買おうとしている人もいるんだけど、向こうの人は土葬の風習があるけど、日本からするとその風習がないからちょっと怖いみたいなこともあるんじゃないかということ。何となく今そうなってきたけれど、不安もあるけど、でもやっぱり誰もが住みやすいまちにしたいよね、そういうまちを5年後見たいよねという話がありました。

もう一つ大きくあったのは、何か複合施設みたいな広場があるといいなど。さっきほかのチームでもありましたけど、「今何かスポーツができる広いところがない、スケートボードができない」とか、「もっと緑陰道路も整備して、もっと人が遊びに来られるような公園としての整備が欲しい」とか、そういう声があつて。そういう広場があると、海外の子たちがここに来て、普通に日本の子たちと変わらないことを大阪弁でしゃべってるみたいな風景が見えて安心できるということもあると思うし、広場があることによって、子ども同士、親同士も顔が見える関係ができていたりして、身近に行けたり顔見知りができたりすれば、子育て世帯にも相談できる余裕や心理的余裕が生まれるのではないかとか、どんどんつながっていく話題として、広場の話は結構盛り上がりました。

あと、お祭りの話も出てきましたね。さっきどこかで「盆踊りをしましょう」みたいな話がありましたけど、お祭りをするとみんな出てくるし、やっぱりつながりを作るきっかけとしてとても重要なのではないかと、という話があつたと思います。

何か補足はありますか。

○倉方委員

学童で働いている倉方といいます。広場みたいなのができると、町会費というか、町会へつながっていくこととは別に、地域へのつながりができるのではないかと。高齢者と若者の生活範囲が違ってくるとつながりが見えない。全員が集える場所があるとつながりも出てくるのではないかとということで、こういう案が出ました。

○松岡委員

助かりました。ありがとうございます。

(拍手)

○西尾政策共創課長

ありがとうございました。

それでは議長、副議長、すみませんが、席に戻っていただいてよろしいでしょうか。

皆さん、どうも発表ありがとうございました。

皆さん、その模造紙は置いといてくださいね。後でちゃんと写真を撮って保存したいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは皆さん、まず席にお着きいただいてよろしいでしょうか。

○大垣議長

ありがとうございます。ほかにグループの発表で、西淀川の未来に向けてということで、実現のために取組に力をとありますが、ご意見がもしありましたらよろしく願いいたしますということで、本当にどうもどうも、意見のほうありがとうございました。

それでは副議長、何かご意見ありますでしょうか。

○矢口副議長

今回、将来ビジョン策定に向けたワークということで、「忙しい日常の中でちょっと立ち止まって西淀川区のことを考えてみよう」といった活動で、本当に今、西淀川区はこれからどうしていこうかという、いろいろ素敵な意見が出たと思います。

「地域活性、子育て、防災、これが大変大切だよ」ということは自覚していることでして、共通の認識として、「西淀川区って人がいいよね、魅力があるよね、それぞれの活動で頑張っている人がいるよね」ということで。それをさらに横のつながりとしてつなげていくことで、そこに伸び代がある。住みやすいまちとしての伸び代。何かそういった素敵なビジョンが今回出来上がったと思います。とてもよかったです。ありがとうございます。

○大垣議長

ありがとうございます。いろいろ今ありましたけど、本当にいい意見がね、5年先ということで、たくさんあったと思います。話の中で、防災的なことと、あとは地域性の中でね、また他民族的な人たちを取り入れてもいいかなというような、若き人の意見もちょっと見えてきたような感じがするんです。我々年寄りとしましては、まだまだ少しだけローカル的なところがあって、ちょっと取り入れにくいところもあるような感じがするんですけど、今二つほどあったんですかね。盆踊りとかそういうところに入れてあげれば、また一つ良いことがあるということもあります。その辺のところでも地域性ができるようになってきていると思いますので、地域の方々、代表の方がおられましたら、帰ってからまた言ってほしいかなと思います。よろしくお願ひします。

はい、大体5年先のことを考えていただいてありがとうございました。

それでは、出席いただいております区の代表の議員の先生方からのご意見をいただきたいなと思っております。

それでは初めに、市会議員の山田かなさんからお願いいたします。

○山田かな議員

皆さん、お疲れさまです。本当に暑い中、そしてお忙しい中、この遅い時間から本当にお疲れさまです。活発な意見が本当に出てて市としてもすごく持って行きたいという感じ、やっぱり西淀川区の人が西淀川区のことをすごく考えていらっしゃるんだなっていうのをすごく感じました。

特に去年のテーマの中で、住みたいまちってということと、働きたいまち。住むところと働くところが一緒になったらすごくいい、さらにさらにいいまちになるなって、それが5年後、大阪は特に積極的にやっていたらいいんですけども、安全で、おまけに住むところも働くところも近くていいまちだよっていうところにアピールできていったらいいなと思いました。

すみません、こんな忌憚のない意見でしたけれども。これからお祭りのシーズンになりますので、先ほど外国の方とかっておっしゃってましたのが、これは本当にいい、皆さんも感じていらっしゃるように、いいチャンスだなんていう。地域によっては外国の方が積極的に踊ってる場所もありますし、今言葉の壁はこのスマホの中に翻訳アプリっていいですか、そういうのもありますので、ぜひぜひ1人が1人を連れてきたらかなりの人数になるんじゃないかなと思って、今年の夏祭りも楽しみにしております。以上です。

○大垣議長

ありがとうございます。

続きまして府会議員の中川議員さんからお願いいたします。

○中川議員

皆さん、こんばんは。夜遅くまでありがとうございます。忌憚のないご意見いただきまして、本当にありがとうございます。

大きく二つあったのかなと思ったのですが、一つは防災の話、水害ですね。あと、外国人のお話があったと思っています。

一つは、あさってですね、毎年恒例の夜間訓練というのが開催されます。夜中になったら防潮鉄扉が閉まるという段階になると思います。その中でも西淀川区って、小さい防潮堤っていうんですかね。千船駅にある、千船大橋ですね。防潮堤っていうと、千北橋とか大和田船溜まりとかにある小さい、ちょっと、比較的小さい防潮鉄扉がございまして、今までずっと手でぐるぐると回してるような状況だったんですが、このたび大阪府からしっかりと大阪府民の税金を活用させていただきまして、西淀川区に防潮鉄扉の電動化、手動式やったものを電動化に、ピッとボタン押せばウィッと閉まるような形にすることにできました。先日まで千船大橋と大和田船溜まりの防潮鉄扉の電動化の工事をしてたのですが、それも完了しまして、いよいよあした、あさっての土曜日のときにはスタートさせていただくような状況でして、そこまでさせていた

だいてるという状況です。いわゆる閉めるとき、水防団員の方々の高齢化というのもすごくちょっと激しく進んでいまして、負担軽減を図っていかねばならないということで電動化させていただいたんです。

あわせて、大和田船溜まりにある防潮鉄扉なんですけども、これも大阪府で初めてやらせていただくんですけど、大阪府で、現場に行かなくても閉まる遠隔操作化というのを、今後、大和田船溜まりをモデルケースとしてやっていこうというのが今回決まりました。全部で大阪府内でも、大阪府所管でも163か所ぐらい防潮鉄扉ってあるんですけども、特にやっぱり西淀川区って海拔が低いまちであって、また水防団の皆さんの高齢化が激しく進んでるところで、モデルとして西淀川区を今回選定することになりました。水防団の皆さんが出動しなくても防潮鉄扉が閉まる時代にこれから進んでいくのかなと思っています。

もう1点が外国人の話なんですけど、おっしゃるように、皆さん御存じのとおり、パキスタンの方やベトナムの方やインドネシア、またネパールの方も多く西淀川区には在住されていると思うんですけども、先日、私、府政相談があったときに、「上の階の人の騒音がうるさい」ということで相談があったんです。現場に行きまして、家へ行ってピンポンを押して外国人の方とお話ししまして、スマホで話をしまして、原因は何だろうなと思ったら、その外国人の方はベトナム人でして、ベトナムは料理を床でするみたいなんですよね。机でするのではなくて、地べたでこう、大きい出刃包丁か何かでがらがん肉をたたいてやっていることが騒音の原因だということが分かって、「日本は騒音とかそういうのに気をつけて、机の上で包丁、切ってね」と言ったら、「オーケー、分かった」ということになって、それで一つ解決したという事例があります。意外とちゃんと話をすれば、「こういったやり方があるのだな」ということがたくさん出てきました。いわゆるベトナム人の方は床で座りながらご飯を食べるのが文化にあって、机を置くのではなくて、そこにブルーシートで料理を並べて食べるという状況ですので、どうしても下に騒音が行ってしまうと。その下の人にそれを伝え

たら、すごくすっきりした表情で、「ああ、これが原因だったのか」ということで解決した事例がありました。こういったことを、これから多文化共生と言われる、いろんな外国人の方々とともに理解し合いながら、これから西淀川区で皆さんと一緒に過ごしていければいいかなと思っております。以上です。遅くまでありがとうございました。

○大垣議長

はい、ありがとうございました。今、お話がありましたけど、夏になりましたら祭りがあります。祭りという地域性の高い文化があります。それと先ほども話の中に出ました、盆踊りですかね。そういうのもありますので、その中で外国の方々も一緒に入れてあげれば、「西淀川はこれだけ仲良くやっているんだな」というのを見てもらうのもいいかなと思っております。

それでは続きまして区長からの本日の総括コメントということで、5年先のことを考えながら、よろしくをお願いします。

○松田区長

お疲れさまでございました。非常に活発なご意見を交わしていただきまして、ありがとうございます。

皆様から共通して聞かれたのは、やっぱり人のつながり。西淀川において、地元に住む方々にとって人のつながりがロイヤリティですかね、ギャランティーというんですか、そういうものになってると。言いかえるならば人のつながりがやっぱり我々西淀川区の一番の財産になるというふうに改めて認識させていただきました。

それから、水に囲まれてる。これを防災の観点のみならず、もっと商業的にアピールしてはどうなのかと、こんな意見もありました。私、ちょうどバブル世代なんですけどもね、水辺ってすごい商業的人気があって、ウォーターフロント、今あまり聞かないですけど、当時はウォーターフロントという言葉がありました。そんなこともちよっと思いつきながら、当時のことを思い出しながら、大きなことができるかどうか、

ちょっと時間がかかってしまいますけど、5年後に向けて、そういう水辺の開発、水と戯れるとかね、水を見ながら暮らしに彩りを添える、そんな仕組みができないかなというふうなことも、今思った次第でございます。

最後はやっぱり皆様、これも共通しておっしゃっていた防災の話ですけれども、中でもちょっと防災と外国人、そんな組合せもお話に出てきました。とある地方自治体、どこだったか忘れたんですけども、外国人だけで消防団を結成したと、そんなニュースを耳にしたことを今思い出しました。そういう意味では、私ども行政としても、万策尽きてない、まだまだ尽きてない、まだまだやることがあるなど改めて認識した次第でございます。

ちょっと私事ですけども、私、家が西宮だったんですけども、平成7年に阪神大震災で被災をしました。そのときのことを、防災と聞くといまだに忘れない、思い出んですけども。いろんなものが壊れる、これはまあ仕方ないなと割り切れるわけなんですけども、精神面でのダメージはものすごく大きいです。例えば戦争だと、そんなことはあってはいけないんですけども、相手がありますよね。なので怒りの矛先があるんですけども、災害というのはどこにもぶつけようのない怒りとか悲しみとかがふつふつと湧いてきて、何かみんないらいらしてくる。そんな中でどう切り抜けていくのかという話も出ますと。やっぱり人と人のつながり、一番大事だろうなというふうに思いますので、そういう機運がさらに醸成されて、大阪市の中でも一番つながりが深いと、その部分を大いに自慢できるような区になるように、皆様のご意見を引き続きいただきながら頑張ってまいりたいと思います。今日はどうもありがとうございました。

○大垣議長

ありがとうございました。

その他、事務局からの案内をお願いします。

○西尾政策共創課長

事務局からです。次第にも書かせておりますとおり、次回の区政会議は、令和6年9月12日でございます。18時30分から予定しております、委員の皆様から本日いただいたご意見を踏まえて、西淀川区の将来ビジョンの素案を作らせていただいて、それをお示しさせていただいて議論していただこうと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。以上でございます。

○大垣議長

ありがとうございました。

それでは最後に副議長からもう一言、何か感想とまとめをよろしくお願ひします。

○矢口副議長

本日のこの会議で、こうしてお話をするうちに解決策やたくさんのアイデアが浮かぶものになって、本当に感じました。ぜひ次回もよろしくお願ひいたします。

○大垣議長

皆さん、ありがとうございました。

それでは、議事を進行させていただきましたお礼を申し上げます。

本日はこれで閉会にいたします。長時間ありがとうございました。